



あゆっ子

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」 No.6

自分らしさを実らせる2学期に！

それぞれに充実した夏休みも終わり、子供たちはまた元気に学校に戻ってきました。今年の夏休みも猛暑、酷暑の毎日。九州では大きな地震もあり、改めて自然の脅威について再認識する夏休みとなりました。しかし、登校してくる子供たちの様子を見ると、大きなけがや事故もなく、無事に充実した夏休みを終え、一回り大きくなった感じがします。体験や経験を活かし、自分らしさを発揮する2学期になることを期待しています。

さて、夏休みに入る前に「夢中になれることを探そう！」と、子供たちに話をしました。子供たちは、いろいろな場所でいろいろな人やものに関わり、五感を通して感じ、興味関心を高めた夏休みだったことと思います。2学期は、1学期とこの夏休みに身に付けた力をさらに結びつけていく学期です。あゆっ米も、8月中旬の暑い中、「中干し（なかぼし）：田んぼの水を完全に抜くこと」され、さらに強い稲に育ちます。そして、夏休み後半には、無事「出穂（しゅっすい）：稲の穂が出ること」しました。あゆっ米が困難を乗り越えて穂を出したように、子供たちも壁を乗り越え学んだことを確実な力としていって欲しいです。2学期も子供たちが、自らがもった課題を計画的に探究することができるよう、支援していきます。2学期も、これまで同様の御支援・御協力をよろしくお願いします。



9月1日は防災の日～熊本地震から学ぶ～

9月1日は「防災の日」です。大正12年9月1日（今から103年前）に「関東大震災」があったことと、昔から台風が多い時期とされる「二百十日（にひゃくとおか）：立春から数えて210日目」にあたるからだそうです。

地震については、7月28日に「熊本地震」が起きました。子供たちにとっては、「夏休み」であり、子供たちだけで過ごしていることも考えられます。熊本地震から得た教訓から子供たちとも次のことについて、改めて考えようと思います。ぜひ、御家庭でも話題にしてみてください。

もし1人の時だったら

落ち着いて安全な場所に避難することが大切です。「おはしも」の「おさない」「はしらない」を守ること、また、周りの指示を聞くための「しゃべらない」も大事であることを再確認します。

自分にとって、もっとも大切なものは

何をおいても一番大切なものは「命」です。「おはしも」の「もどらない」を守り、まずは自分の命を最優先することを再確認します。

倒れてくるものや落ちてくるものから身を守るには

初めての場所などでは判断が難しくなります。建物の天井やガラス、道路では看板やブロック塀など、どんなものが危険か再確認するとともに、どのような姿勢で身を守ればいいのかも再確認します。